

令和八年度 奈良金春会演能会

令和八年十月十八日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール

奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四二)二七一六三〇(代)



三輪 輪クセ
井筒
仕舞
笹ノ段
吉川 恵宥
湯本 哲明
中田 能光

能 東方朔

シテ(前・老翁) 金春 穂高
前ツレ(老翁の従者) 金春 嘉織
後ツレ(西王母) 金春 飛翔
ワキ(漢の武帝) 原 大
ワキツレ(大臣) 原 陸
アイ(官人) 山下 守之
アイ(仙人) 茂山 茂
アイ(仙人) 茂山 千之丞
アイ(仙人) 島田 洋海
アイ(仙人) 茂山 虎真
アイ(桃仁の精) 茂山 竜正
笛 赤井 啓三
小鼓 荒木 建作
大鼓 辻 雅之
太鼓 中田 弘美

〽 休 憩 二十分 〽

狂言 因幡堂

シテ(男) 茂山 茂
アド(女) 茂山 千之丞
房

弓八幡
放下僧 コウタ
仕舞
融
本田 布由樹
辻井 八郎
高橋 忍

能 田村

シテ(前・童) 金春 憲和
ワキ(旅僧) 原 陸
アイ(門前の者) 増田 浩紀

笛 小鼓 赤井 要佑
大鼓 荒木 建作
辻 芳 昭

付 祝 言

(終了予定 午後四時半頃)

東方朔 (とうほうさく)

解 説 中 司 由起子

中国漢の武帝に仕える官人(アイ)が、三本脚の青鳥の飛来という奇瑞があったこと、七夕の節会がおこなわれることを述べる。皇帝(ワキ)が臣下(ワキツレ)と星祭をしていると、老人(前シテ)と若者(前ツレ)が現れる。二人は、三千年に一度花を咲かせ実をつける桃を仙女西王母が皇帝に捧げると告げる。さらに老人は、西王母が西方極楽無量寿仏の化現であり、自分は仙人東方朔であると明かし消え失せる。仙人(アイ)や桃仁の精(アイ)が出現し、やがて東方朔(後シテ)が現れて西王母(後ツレ)を呼び出す。西王母は桃を皇帝に授け、東方朔と西王母は舞を舞う。夕日が西に傾き、二人は天上へと帰っていった。

東方朔は実在の人物ですが、後に様々な伝説が作られました。東方朔と西王母の舞う相舞の「楽」が見どころの一つ。

田 村 (たむら)

旅の僧(ワキ)が都の清水寺を訪れ、桜の下を清める童子(前シテ)と出会う。童子は地主権現に仕える者と言い、坂上田村丸が清水寺を建立したという縁起を語る。さらに清水から見える東山の名所を教え、僧と春の宵に興じると、田村堂の奥へ姿を消す。清水寺門前の男(アイ)と話を聞いた僧が読経をしていると、武將姿の田村丸の神霊(後シテ)が現れる。田村丸は千手観音の加護を得て、伊勢国鈴鹿山の賊を退けた武勲を語り、鬼神との戦いを見せて観音の靈験をたたえる。

田村丸は平安時代初期の武將。春爛漫の清水を舞台にした、祝言の趣がある勝修羅の作品です。

令和九年度 奈良金春会演能会 予定日 (年四回公演)

四月二十五日(日) 六月二十日(日) 十月十七日(日) 十一月二十八日(日)

令和九年度 奈良金春会連合 謡曲・仕舞会 予定日

七月十一日(日)

四枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

一般一回券

七、〇〇〇円

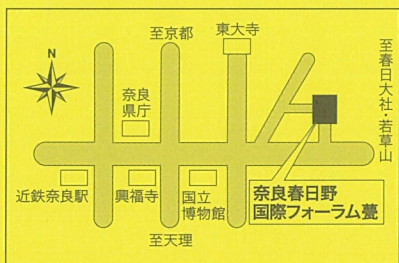
学生一回券

三、五〇〇円

◎鑑賞券は、奈良春日野

国際フォーラム薨でも

取り扱います。



奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七二二六三〇(代)

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良金春会
後援 奈良市教育委員会
(公社)金春円満井会

お問合せ 電話

(〇七四二)三三一九七二〇 金春

◎特別に許可された人以外の 写真撮影・録画・録音は お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は 現在一般の方の車の受け入れをしておりません。

車でお越しの方は 他所に駐車場をお求めいただくことになります。

◎満席の場合など 当日会場では入場券を発売しない事があります。又 入場制限する事もあります。

◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎感染症対策について

●マスクの着用は、ご来場されたお客様の任意といたしますが、場内での会話はお控えください。

また、アルコール消毒については、今まで通りお願いいたします。

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、座席数に制限をかける場合があります。